

ガンバシ！！いしかわのニューファーマー！

～新規就農者からのメッセージ～

1人農業で、新たな生き甲斐を「もうける」！！

◇プロフィール

綱 要 (つな かなめ)

昭和22年 宝達志水町生まれ
昭和45年 マルピー薬品(株)入社
平成〇年 " 退社
平成17年 アグリ塾体験コース
平成18年 アグリ塾通年コース

平成19年 白山市向島にて新規就農

現在 ガラスハウス2棟を借り、メロン・軟



◆就農のきっかけから実際の就農まで

農業と云えば、小学生の頃に「くわ」で周囲の畑を耕す程度のことしか記憶がありませんでした。

そんな折り、「あんた、押水のあいた土地に野菜でも作ったら。今、県のアグリ塾で、作り方を教えているよ。」と妻からアドバイスがあり、早速、平成17年度のアグリ塾体験コースを受講し、メロンづくりに出会いました。

「よし、これだ！」と思い、18年度のアグリ塾通年コースを再受講しました。

そして、平成19年には、石川農林総合事務所のご支援を頂き、メロンづくりに適したハウスを借りることができ、メロン栽培に取り組みました。

◆就農してから現在まで

就農時は正直、4aのガラスハウスを管理出来るのかどうか不安でいっぱいでした。

というのも、アグリ塾ではメロンを250本栽培するのに、2人で苦戦しながら管理をしていたのに、いきなり880本をたった1人で栽培し始めようとしていたからです。

そういう思いでスタートしましたが、「アッ」という間に3年が過ぎてしまいました。

なんとかなったのです。

3年目の今年は、ガラスハウス1棟とビニールハウス1棟(1.5a)を増やし、メロンの年5作に取り組みました。

この間、農林総合事務所、あるいは近隣の農家の方々のご

◎将来はこんな農業をめざします！

今年就農3年目であるが、あと2年後には、農業で独り立

○今後就農を目指す人へ

私がアドバイスを送れるとしたら、定年を迎え、年金暮らしをしながら就農しようと思っている方へです。

それは、

自分が食べて大好きな品目を選び、
先ず、栽培を始めてみましょう！！

□農林事務所所長よりひとこと

しきりに、「はじめは家庭菜園が上手く出来れば、ぐらゐの気持ちでこの道に入ったのでファーマーと名乗るのは申し訳ない。」と謙遜していましたが、今年ハウスも増やし3月の種まきから11月の収穫まで働きづくめ。立派に農家。

なぜメロン？との問いには、一人で気楽に作業が出来そう、収穫時は一時に集中し作業にメリハリがありそう、自分も好物で高級感があり高く売れそう、とのこと。わかりやすい。

病害で1ハウス分全て廃棄するなど情けないこともあったが、それ以上に楽しかったことが一杯あり、ここまでやってこれたと感慨深げ。常に前向き。